次号予告　2018年3月号

特集

精神科の看取りをめぐって「亡くなる前の身体の見方」「やりすぎ医療とQOL問題」

【トピックス】
精神科の患者さんが亡くなる時の身体と医療の関係、余命の見通し、家族の意向、身体的手術や治療などと行動制限の関係、DNR、DNARを示しておくこと、死ぬ話をすること、意思疎通をしておくこと、意思決定に困る時、看護師個人の「後悔」とデスカンファレンス、デスカンファレンスで話し合う内容やイニシアチブ、など

【著者】小貫洋子、松谷典洋、高山成吉、有本妥美

新連載

快より始めよ。
その1：心に働きかけるパーソナルソング
◎**山元裕子、出水眞由美**（藤元病院・看護師）

武井麻子先生にこれを聞きたい
その1：看護研究アレルギーへの処方箋
◎**武井麻子**（日本赤十字看護大学・名誉教授）

医療と福祉――地域に出て見えてきたこと。
「福祉を下に見てはいけません」
◎**垣亮祐石**（さわらび診療所・院長）

焦点

「痛み」を数値化できるメリットとは
――ペインビジョン
◎**加藤実**（日本大学医学部附属板橋病院・医師）、
三木俊（東北大学病院・医師）

＊予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

編集後記

11月5日に松谷典洋さんの公開収録「患者さんが亡くなる時の身体の見方、がん疼痛時の緩和の基礎、最期の医療」を行い、好評のうちに終了しました。とても充実した内容でしたので、3月号に掲載させていただく予定です。お楽しみに。▶終了後にお疲れ様会を開いたのですが、そこに同席してくださったN病院の看護師Kさんから、思いがけずこんなことを言われました。「私ね、精神看護の去年の足の爪の特集を読んで、"これだ!"と思って、私のライフワークにするの」。聞くと、2016年11月号特集「足の爪切りは患者さんの人生を変える」を読んだKさんは、「こういう爪の患者さん、うちの病院にいっぱいいる!」と思ったそうです。そしてニッパーを使って、すごい状態になっている患者さんの爪を勇気をもって切り、そこに白癬菌治療薬を塗ってみたそうです。「そしたらね、ほんっとに綺麗になるのよ!　患者さんもね、靴が履けるようになって喜んでたわー」。▶それを聞いて私は嬉しすぎて鳥肌が立ちました。誰もが人の幸せに貢献したいと思って仕事をしていますが、雑誌を読んだ人の心と体が動き、その先にいる患者さんの幸せにつながったんだと考えると、ああ使命を果たせたな、と感じたのです。（石川）

【今月号の表紙】When troubled, ingenuity is born（困った時こそ工夫が生まれる）

精神看護　第21巻第1号　2018年1月15日発行（隔月刊）　発行：株式会社医学書院　代表者：金原優　〒113-8719　東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.　1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2018, Printed in Japan　販売部：☎03-3817-5659
『精神看護』編集室：☎03-3817-5769　FAX03-5804-0485　担当：石川・伊藤　E-mail：seikan@igaku-shoin.co.jp
本文・表紙デザイン：高見清史（view from above）　表紙イラスト：大西洋　印刷・製本：アイワード
1部定価：本体1,300円＋税
2018年年間購読料（送料弊社負担、年間6冊）：本体7,080円＋税（冊子版）／本体10,080円＋税（冊子＋電子版/個人）／本体7,080円＋税（電子版/個人）

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
JCOPY〈出版者著作権管理機構　委託出版物〉
本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、✉ info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
＊「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2018

2026/09/17 10:24:40